

教 智

東中だより

第292号

令和8年3月24日

生徒数758

本日の修了式で令和七年度の生活に区切りがつけました。「修了式」では修了がもつ意味と春休みの生活について話をしました。春休みに入る前にご家庭でもこの1年間の振り返りやどのように14日間の春休みを過ごすのか一度話をしてください。以下は修了式式辞の抜粋です。

「修める」ということ

修了式の「修」という字は、糸へんの「終」ではありません。にんべんに縦線を引くこの字には、「物事を収める・身につける」という意味があります。つまり修了式とは、皆さんがこの一年間の学習をしっかりとやり遂げたことを、学校が正式に認める式典です。

一年生、二年生の皆さん、この一年間本当によくがんばりました。運動、学習、行事、一人一人、形は違っても、自分のため、そして友達や学級、学年のために自ら考え、動く「考動(こうどう)」が随所に見られた一年だったのではないのでしょうか。この一年で何ができるようになったのかを振り返ってみてください。

四月からは、二年生はいよいよ最高学年である三年生になります。明確な目的をもち、下級生を力強くリードしてくれる集団になることを期待しています。先日、授業を見に行っていてふと思ったことがあります。最近丁寧な言葉をつかえるようになってきました。とても大切なことであり、良いことだと思います。一年生は、初めて後輩ができ、「先輩」としての考動が求められます。東浦中学校の新たな風として、皆さんがどんな活躍を見せてくれるか、今からとても楽しみにしています。

明日から春休みです。皆さん何をしますか？(春休みは「動きながら考える」時間)

明日から14日間の春休みが始まります。1日24時間、合計336時間。この時間は誰に対しても平等ですが、どのように使うかは自分次第です。時間を有効に使い、納得のいくものにするために、私から一つ提案があります。

それは「動きながら考える」ということです。毎日生活をしていると困難なことに直面します。その時に大切なのは臨機応変さです。「できることから、まずやってみる」。そしてその結果を見てまた考え、「次の一手」を打つ。常に「考動」を伴いながら、より良い方向へ修正していくのが「動きながら考える」ということです。

反対に、一番避けたいのは「計画だけで時間を浪費すること」です。慎重になりすぎて動けなくなったり、計画倒れで終わったりしては意味がありません。

この14日間、「これをやってみよう」と決めて、まずは一歩、具体的に動いてみましょう。動けば景色が変わり、新しい考えが浮かびます。それをもとに考え修正して、次の考動をしていくということです。ぜひ、試してみてください。有意義な14日間にしましょう。

【一年間ありがとうございました】

本年度、本校はグランドデザインに示した目指す生徒像

【自律的考動力】＝【生活力】＋【課題解決力】

生徒がこの力をつけることができるように教育活動に取り組んできました。東浦中学校の生徒はいろいろな場面で、自分で考え、そして判断し表現する力がついてきています。今後も生徒が生活のさまざまな場面を自分事として考え判断し考動していけるように教育活動を続けていきます。一年間、東浦中学校の教育活動へご支援、ご協力いただきありがとうございました。令和八年度もよろしく願いいたします。



